

参考図書紹介

門外不出だった養蜂コレクションのデジタル画像集

Jones, R. (ed.) 2005. The IBRA Museum –An international collection of historical artefacts illustrating all aspects of beekeeping–. International Bee Research Association, Cardiff. CD-ROM.

国際ミツバチ研究協会 (IBRA) には約 2,500 点の養蜂具、養蜂関連の貴重な資料が保蔵されている。こ

れが IBRA/Eva Crane コレクションで、これまで何十年も門外不出となっていたが、ベルギー東フランデレンのヘント市エークロに作られる国際養蜂センターに貸出す形で、新たに公開展示されることになっている。

公開に先行して、コレクションの全アイテムの、デジタル画像によるデータベース化プロジェクトがほぼ完成し、その中からごく一部の画像 (モノクロおよびカラー) に、解説とイラストが加わったスライドショー形式の CD-ROM が制作された。「The IBRA Museum」と題されたこの CD-ROM は副題にもあるように、あらゆる養蜂関連分野のものを含んでいる。全体の 1 割にも満たないものの、計 218 枚のスライドは、ヨーロッパのものを中心に、地理的には北米、南米、中近東、アジア、アフリカからオセアニアまで、また歴史的にはローマ時代から現代まで、大まかには次のような分類群にわたるコレクションを紹介するものとなっている。

1. 養蜂防護服と各種面布, 2. 各国の伝統巣箱, 3. 多様なスケップ巣箱と用具, 4. 19 世紀の装飾的な木製巣箱, 5. 機能的近代巣箱の開発, 6. 巣枠式巢板と巢礎など, 7. 隔王板, 王台など蜂群管理用具, 8. 燻煙器, 9. 移動養蜂用の器具類, 10. ハチミツ抽出器具類, 11. 古今東西のハチミツ容器, 12. ハチミツ菓子, ハチミツ酒類, 13. 蜂ろうの製造と用途, 14. ミツバチ生産物, 15. アピモンディアグッズ, 16. 各国コイン, メダル, 切手, 17. ハニーハンターが使う用具, 18. その他 (記念品, 発明品など)。

なお、CD のカバージャケットの絵は、16 世紀フランドル地方の画家、ピーター・ブリューゲル (父) がライン川下流地方の養蜂風景を描いて、1565 年に制作したモノクロの銅版画がオリジナルとなっている。防護服と面布に身を固め、スケップ巣箱を運ぶ人や巣箱を逆さまにして中の巢板を取り出そうとする人の姿を活描されている。この銅版画を元に、1950 年頃にドロシー・ホッジスが水彩で彩色したものを、カバー絵に採用した。

CD-ROM の入手は IBRA のホームページ内のショップでの注文に限られている。下記アドレスで「IBRA museum」を検索。1 枚 £8.00 (クレジットカード決済可)、他に送料がかかる。

<http://www.ibra.org.uk/shop/erol.html#1X0>

(榎本ひとみ)

